

2020年12月新着情報



海外／国際機関で行われている／行われた興味深いイベント／ 取り組み

- **国連：MIPAA20周年およびUNECE地域実施戦略の振り返り(11/12、バーチャルイベント)**
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/news/2020/11/20-years-of-mipaa-and-unece-regional-implementation-strategy/>
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/fourth-review-and-appraisal-of-the-madrid-international-plan-of-action-on-ageing-2002.html>（当日のビデオやPPTスライドなどを閲覧可能）
 - 国際高齢者団体連盟(IFA)は高齢化に関するNGO委員会(ウィーン)と共同で、2020年11月12日にバーチャルイベントを開催した。このイベントの目的は、高齢化に関するマドリッド国際行動計画(MIPAA)、特に国連欧州経済委員会(UNECE)の地域実施戦略に関する経験と成果の振り返りであった。第2回高齢化に関する世界会議開催から20年を迎えようとする中でパネリストたちは、国連システム全体でシナジーを構築する様々な機会について検討し、高齢化のアジェンダを進め、あらゆる高齢者の健康やウェルビーイング、社会経済的な包摂および高齢者の権利を保障するための新たな勢いづくりを目指した。



海外での興味深い取り組み・ニュース

- **英国：ヘルシーエイジングに関する資料ライブラリーをCentre for Ageing Betterが開設(11/5)**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/news/library-resources-healthy-ageing-launched>
 - <https://cop.ageing-better.org.uk/resources>（ライブラリーのトップページ）
 - Centre for Ageing Betterが、ヘルシーエイジングに関する資料ライブラリーを新たに立ち上げた。このライブラリーでは、政府の指針で示されているテーマ(身体活動、エイジフレンドリーな住宅、社会的なつながり、イノベーションなど)に沿って、厳選された報告書や研究論文、ツールキットなどを紹介している。テーマや資料の種類(学術論文、本、ガイド、ブログ)などで検索可能。
- **英国：エイジポジティブ・アイコン・コンテストの優勝者が決定(11/11)**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/news/dancing-couple-design-wins-age-positive-icon-competition>
 - Centre for Ageing Betterでは2020年9月、高齢者の新たなシンボル作成に向けてコンテストを開催した。この取り組みは大きな反響を呼び、ソーシャルメディアだけでなく全国テレビでも紹介された。120を超える応募作品の中から、SwaG Designによるアイコンが選ばれた。このアイコンでは、

元々あった「高齢カップルが道を横断する」様子からひねりを加え、生き生きとした様子でダンスをする様子を描いている。優勝者のアイコンは誰でも利用できるようにし、最終的なデザインは 2021 年 2 月までに確定予定である。上記ページからは、最終選考に残った他の作品も閲覧可能。

- **【コロナ関連】英国：高齢者の 15%で受給ケアが減少との推計(11/21)**
 - <https://www.ageuk.org.uk/latest-press/articles/2020/11/new-age-uk-research-estimates-that-one-in-seven-older-people-have-had-care-reduced/>
 - 加齢に関する縦断研究調査(ELSA)の COVID-19 に関するデータを Age UK が分析したところ、コロナパンデミックが始まって以降、65 歳以上の人のうち 21 万人(15%)で受給ケアが減少していた。イングランドでは 65 歳以上人口の 13%(140 万人)がパンデミック以前にケアを受給していたが、その内 8%(11.2 万人)は受給ケアの量が減ったほか、7%(9.8 万人)はケアの受給がストップしていた。さらに大きな背景を見ると、イングランドに住む 65 歳以上の人のうち、ケアを必要としていると回答したのは 270 万いたが、そのうち 100 万人(38%)は、ニーズがいつも満たされているわけではない、と回答していた。
- **【コロナ関連】英国(北アイルランド)：高齢者の孤独を浮き彫りにするロンドンリーのアートプロジェクト**
 - <https://www.bbc.com/news/av/uk-northern-ireland-55014070> (動画あり)
 - ロンドンリーの Rossville Street では、数々の高齢者の巨大な写真が飾られている。「Social Distancing Should Not Mean Social Isolation(社会的距離は社会的孤立であってはならない)」と題したこのアートプロジェクトが目指しているのは、コロナパンデミックでの自己隔離によって、高齢者がいかにして日常の交流から絶たれているかを浮き彫りにすることである。パンデミックの中でもつながり続けることの重要性を、企画者たちは強調したいと考えている。飾られている写真は高齢者宅の玄関や庭で撮られたものもある。
- **スペイン：アルツハイマー病の元バレリーナが「白鳥の湖」で蘇る**
 - <https://www.bbc.com/news/av/world-europe-54896710> (動画あり)
 - スペインのある慈善団体では、認知症の人の生活を改善するために音楽を活用している。同団体では先日、アルツハイマー病の元バレリーナである Martina Gonzalez 氏の動画を発表した。Gonzalez 氏はケアホームでチャイコフスキーの「白鳥の湖」を聴いているうちに、上半身を使ってバレエを踊りだしたのである。この録画から間もなく、Gonzalez 氏はこの世を去った。
- **【コロナ関連】米国：コロナパンデミックの中、ミレニアル世代が「サンドイッチ世代」を占める割合が増加(11/18)**
 - <https://www.usatoday.com/story/money/2020/11/18/sandwich-generation-covid-19-forces-more-millennials-care-kids-parents/6331624002/>
 - https://www.newyorklife.com/assets/newsroom/docs/pdfs/New_York_Life_Sandwich_Gen_Data_Sheet_2.pdf (データシート)
 - コロナパンデミックの中で、ミレニアル世代(1980 年から 1995 年の間に生まれた世代)が「サンドイ

子世代」として子育てと高齢者介護の両方を担う割合が急増している。Morning Consult が 2020 年 7 月に行った調査によると、その割合は全体の 39%に上った。AARP が 5 年前に行った調査では、家族介護者の中でミレニアル世代が占める割合は 1/4 だった。



海外／国際機関で最近発表された法律・規則・提言など

- **【コロナ関連】英国：コロナワクチンとケアホーム：プログラムの開始(12/4)**
 - <https://www.gov.uk/government/publications/covid-19-vaccinations-and-care-homes-programme-launch>
 - https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/941446/MSC_Letter_to_the_care_sector.pdf (全文)
 - <https://www.bbc.com/japanese/55155846> (関連の BBC 日本語ニュース)
 - ケア担当大臣は 12 月 4 日、ケアホーム職員および利用者へコロナワクチンをまず提供するという計画をまとめた文書を発表した。成人向け社会的ケアは最優先グループとして挙げられており、グループ 1 は、「ケアホームの高齢入居者およびその介護者」、そしてグループ 2 は「医療および社会的ケア従事者」となっている。



海外／国際機関で最近発表された／近日発表される 報告書・ガイドブックなど

- **【コロナ関連】世界各国：COVID and Longer Lives: Combating ageism and creating solutions(コロナと長寿：エイジズムとの闘いと解決策の創出)**
 - <https://www.age-platform.eu/publications/covid-and-longer-lives-combating-ageism-and-creating-solutions>
 - http://www3.weforum.org/docs/WEF_Combating_ageism_and_creating_solutions_2020.pdf (全文)
 - コロナパンデミックによって世界中の高齢者は、他の年齢層よりも大きな影響を受けており、その影響は身体的な健康やメンタルヘルス、そして日常生活まで多岐にわたる。加えてエイジズムによって、課題の克服が更に困難となっている。年齢に基づく固定観念や差別などによって既存の格差が拡大し、効果的な対策を打ちにくくなるのである。すべての高齢者は虚弱で他者に依存している、という思い込みは、間違っているだけでなく有害でもある。世界経済フォーラムの長寿に関する未来協議会が作成したこの新たな報告書では、パンデミックへの対応が、情報に基づき包摂的で、高齢者の権利や尊厳を守るものであるよう保証することの重要性をまとめている。
- 欧州：Health at a Glance: Europe 2020(図表で見る保健医療：2020 年欧州版)

- https://ec.europa.eu/health/state/glance_en
 - https://ec.europa.eu/health/sites/health/files/state/docs/2020_healthatglance_rep_en.pdf
(全文)
 - この報告書シリーズは、効果的でアクセスしやすい医療システムに向けた欧州の進捗状況をまとめたものであり、2年に1度発表されている。OECDが欧州委員会と共同でまとめた最新版が、2020年11月に発表された。欧州36か国における健康状態(寿命や高齢者にも言及)や健康のリスク要因に関するデータをまとめた章に加え、2020年度版ではコロナパンデミックにおける欧州の医療対応、そして欧州の大気汚染が健康に及ぼす影響についても章を設けている。
- **欧州: Older Persons in Emergency Situations(緊急状況下の高齢者)(UNECE Policy Brief on Ageing No. 25)**
 - <http://www.unece.org/population/ageing/policybriefs.html>
 - http://www.unece.org/fileadmin/DAM/pau/age/Policy_briefs/ECE_WG1_36_PB25.pdf (全文)
 - 欧州地域では、2001-2019年に起きた緊急事態で1億3,000万人が影響を受け、9,000万人以上が負傷し、67.4万人が家を失ったと推計される。高齢者は一般的に、緊急事態で他の年齢層よりも大きな影響を受ける一方、災害のリスク低減策や緊急時の対応では見過ごされることが多い。コロナパンデミックによって、高齢者の脆弱性だけでなく孤独や孤立の問題も浮き彫りとなった。2020年9月現在、欧州地域ではコロナ関連死の9割近くを65歳以上が占めている。災害のリスク低減や準備では、高齢者に優しく包摂的な計画が必要である。課題となるのは、高齢者の保護やニーズに対応したサービスの保障だけでなく、高齢者の多様性や能力に対する配慮も必要である。
- **開発途上国11か国: If not now, when?(今でしょ?)(Age International & HelpAge International 報告書)**
 - <https://www.helpage.org/what-we-do/if-not-now-when/> (ここから全文や要約をダウンロード可能)
 - この報告書では、緊急状況下で高齢者の権利がどの程度守られ、ニーズがどの程度対応されているのか検討している。人道的支援は高齢者にも行われているものの、全体としては不十分である。この報告書では、2018年後半から2019年終わりまで、アジアやアフリカ、ラテンアメリカなど11か国で社会経済的危機や自然災害の影響を受けた50-80歳の8,883人を対象とした、ニーズアセスメントの結果をまとめている。分析の結果、緊急事態でのリスクに関わらず、高齢者は隅に置かれることが多く、時に人道的支援から排除されていることが分かった。したがって、人道的対応は高齢者の基本的なニーズを満たしておらず、調査対象高齢者のうち64%は十分な食べ物を得ておらず、77%は所得が皆無だった。また調査終了後の2020年にはコロナパンデミックが世界を襲い、人道的支援のニーズが高まると同時に支援の提供が難しくなっている。
- **【コロナ関連】英国: The health, economic and social effects of COVID-19 and the tiered approach (COVID-19の健康、経済、社会面での影響と階層的アプローチ)(11/30、保健省報告書)**

- <https://www.gov.uk/government/publications/the-health-economic-and-social-effects-of-covid-19-and-the-tiered-approach>
 - https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/939876/Analysis_of_the_health_economic_and_social_effects_of_COVID-19_and_the_approach_to_tiering_FINAL_SofS.pdf (全文)
 - この報告書では、コロナパンデミックにおける政府の階層的アプローチの健康・経済・社会面での影響について、エビデンスと分析をまとめている。報告書では現状について言及しているほか、今後の展望についても述べている。
- **英国: Peace of mind: Understanding the non-financial value of financial advice (安心感: 経済的助言が経済面以外にもたらす価値の理解) (ILC-UK 報告書)**
 - <https://ilcuk.org.uk/peace-of-mind/>
 - <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2020/11/ILC-Peace-of-mind-The-non-financial-value-of-advice.pdf> (全文)
 - 年金や金融サービスの規則がここ数年で変わったことにより、退職後の収入に対する個人の責任が増大し、専門の経済的助言が重要性を増している。ILCによる既存研究では、助言を受けることの経済的メリットが示されたが、今回の質的分析では経済面以外でも、金融知識の向上、自信の向上、安心感の増大など多様なメリットが浮き彫りとなった。しかし現状ではあらゆる所得層で、経済的助言が十分活用されておらず、活用率は 1/6 に満たない。活用のバリアとしては、サービスに関する認識不足や、サービス提供場所に関する知識不足が挙げられる。報告書では、政府や業界、規制機関に対し、お互い協力して更なる活用に向けて取り組むよう呼び掛けており、そのための提言も示している。
- **英国: The forgotten generation? Exploring retirement income prospects of Generation X – interim findings report (忘れられた世代? X 世代の退職後所得展望—中間報告) (ILC-UK 中間報告)**
 - <https://ilcuk.org.uk/the-forgotten-generation-exploring-retirement-income-prospects-of-generation-x-interim-findings-report/>
 - <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2020/11/The-forgotten-generation-Interim-findings.pdf> (全文)
 - X 世代(1960 年代半ばから 1970 年代終盤に生まれ、現在は 40—55 歳前後)の多くは、所得が不十分な状態での退職、という厳しい現状に直面する。その背景は多岐にわたり、たとえば今も続くコロナパンデミック、高額な住宅費、投資リターンの低さ、不安定な雇用、ケアの役割増加などが含まれる。著者たちは当事者たちとの一連のパネル討論を通じて、退職への準備がいかに困難かについて生の声を聞いた。この中間報告書では、これらの懸念を浮き彫りにするとともに、6,000 人以上の X 世代を対象とした全国調査の結果もいくつか紹介している。調査の結果、当事者の多くは退職後に低所得となる可能性を見込んでおり、経済的不安や他の優先事項のために退職後に備えることも難しいと感じていた。そしてコロナパンデミックによって、状況はさらに悪化すると見込んでいた。最終報告は 2021 年初めに発表し、ここでは X 世代の退職後所得を改善するた

めの提言を行う予定。

- **英国: Work for tomorrow: Innovating for an ageing workforce consultation paper(明日に向けた取り組み: 労働力の高齢化に向けたイノベーションに関する討議論文) (ILC-UK 報告書)**
 - <https://ilcuk.org.uk/work-for-tomorrow-innovating-for-an-ageing-workforce-consultation-paper/>
 - <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2020/12/Work-for-tomorrow-Consultation-paper.pdf> (全文)
 - ILC-UK では Innovation Resource Center for Human Resources の支援を得て、労働力の高齢化に対応する上での課題やイノベーションを特定する国際プログラムを立ち上げた。上記の目標に向けてこのプログラムでは、4 点の主要分野(「健康維持」、「知識、スキルおよび能力の向上」、「差別への対応と多様性の支援」、「職場の改善」)での国際的なイノベーションコンテストを行う。2021 年初めにコンテストを立ち上げる前に ILC-UK では、労働力の高齢化に向けた職場の改善について、世界中の政策立案者や雇用者、人材開発専門家の話を伺う予定である。この討議論文では、国際コンテストの枠組みを設けるとともに、イノベーションによって乗り越えなければならない課題を浮き彫りにしている。ILC-UK では、この報告書への意見やフィードバックを歓迎する。ちなみに報告書 p.19 では、日本のシルバー人材サービスセンターが紹介されている。

- **英国: The State of Ageing in 2020(エイジングの現状:2020) (Centre for Ageing Better 報告書)**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/state-of-ageing-20> (全文へのリンク)
 - <https://www.ageing-better.org.uk/news/state-ageing-coronavirus-set-people-mid-life-path-poverty-and-ill-health-inequalities-widening>
 - <https://www.ageing-better.org.uk/sites/default/files/2020-11/The-State-of-Ageing-2020.pdf> (要約)
 - この報告では全国データの分析を通じて、イングランドにおける高齢化の現状について、健康、住宅、就労、地域などに分けてまとめているほか、コロナパンデミックの影響についても言及している。報告書では、コロナパンデミックによって既存の格差が更に拡大すると見込んでいる。何らかの行動を起こさなければ、高齢期における地域や経済面での格差は更に拡大していくとみられており、報告書では、様々な関係者による格差対応を呼びかけている。この報告書全文はオンラインのみで閲覧でき、セクションごとにページが異なる。各セクションで「Analysis」をクリックすると、各図表の結果説明文を閲覧できるほか、図表下の「Get the data」をクリックすると、エクセルで生データを閲覧できる。

- **【コロナ関連】オーストラリア: Coronavirus (COVID-19) – National aged care guidance – aged care visitation guidelines (COVID-19: 全国高齢者ケアガイドライン-高齢者ケア施設訪問ガイドライン) (11/12)**
 - <https://www.health.gov.au/resources/publications/coronavirus-covid-19-national-aged-care-guidance-aged-care-visitation-guidelines>

- <https://www.health.gov.au/sites/default/files/documents/2020/11/coronavirus-covid-19-national-aged-care-guidance-aged-care-visitation-guidelines.pdf> (全文)
 - オーストラリア健康保護委員会は、高齢者ケア施設の訪問ガイダンスを承認した。このガイドでは、地域のコロナ感染拡大状況に応じた訪問の対応に関するアドバイスも示されている。ガイドラインはコロナ感染拡大の状況に応じて 3 層に分かれており、それぞれのレベルで入館制限、訪問に関連した入居者のケアや支援、訪問制限、入居者の外出などについてまとめている。
- **オーストラリア:2019-20 Report on the Operation of the Aged Care Act 1997(1997 年高齢者ケア法の運営に関する 2019-2020 年報告)(11/26)**
 - <https://www.health.gov.au/resources/publications/2019-20-report-on-the-operation-of-the-aged-care-act-1997>
 - <https://www.gen-agedcaredata.gov.au/www.aihwgen/media/ROACA/20366-Health-Report-on-the-Operation-of-the-Aged-Care-Act-2019%e2%80%932020-accessible.pdf> (全文)
 - この文書では、2019-2020 年度におけるオーストラリアの高齢者ケアシステム運営について詳細を報告しており、今年度は 22 度目の報告である。報告書は 1997 年高齢者ケア法に基づいて、大臣から国会に提出される。報告書の構成は以下の通り:オーストラリアの高齢者ケアシステム、情報に基づいた高齢者ケアへのアクセス、在宅支援、在宅ケア、レスパイトケア、施設ケア、柔軟なケア、特別なニーズを有する人たちへのケア、高齢者ケア人材と認知症支援、質と規制。各セクションには、全体を簡潔にまとめたインフォグラフィックスも掲載されている。
- **【コロナ関連】オーストラリア:Updated National COVID-19 Aged Care Plan - 7th Edition(全国 COVID-19 高齢者ケア計画更新版:第 7 版)(11/30)**
 - <https://www.health.gov.au/resources/publications/updated-national-covid-19-aged-care-plan-7th-edition>
 - <https://www.health.gov.au/sites/default/files/documents/2020/12/updated-national-covid-19-aged-care-plan-7th-edition.pdf> (全文)
 - この計画は、COVID-19 の予防・備え・対応で、高齢者ケアセクター(施設および在宅)を政府がこれまでいかにして支援し、今後どのように支援し続けていくのかについて、既存のガイダンスをまとめたものである。また高齢者ケア利用者、その家族、高齢者ケア従事者および事業者を支援するためのガイダンスや情報、ツールも掲載している。
- **オーストラリア:ICT Strategy and Architecture Report(ICT の戦略と構築に関する報告)(12/4)**
 - <https://apo.org.au/node/309907>
 - <https://agedcare.royalcommission.gov.au/sites/default/files/2020-12/ict-strategy-and-architecture-report.pdf> (全文)
 - The Architecture Practice によるこの報告書では、高齢者ケアでの ICT やアシスティブテクノロジーに関する現状について評価を行っている。現状の問題点としては、データ収集や共有の欠如、相互運用性の低さ、基本的な基準の欠如などが挙げられており、報告書では王立委員会に対し、

数々の提案(例:独立した高齢者ケアのデータ機関設立、IT インフラの向上、ケア従事者の IT スキル向上など)を行っている。